

算数プロジェクト「GUATEMATICA (グアテマティカ)」

発表者氏名： 野口 美紀子
所属学校種： 守谷市立御所ヶ丘中学校
派遣職種： 小学校教諭
派遣国： グアテマラ
派遣先： サンマルコス県教育委員会



キーワード： 教員の算数指導力向上, 選抜教員育成, 算数チーム結成, 平等な教育

発表要旨：

1. グアテマラ共和国について

中米の最西メキシコの隣に位置し、自然が豊かでコーヒー栽培が盛んな国である。ティカル遺跡をはじめ、マヤ文明時代の多くの歴史産物が各地に点在し、カラフルな民族衣装を着たインディヘナと呼ばれる多くの

少数民族、そして20を超える言語が存在している。

2. グアテマラの教育事情

グアテマラは貧富の差がとても激しく、貧困家庭（多くがインディヘナ）の子どもたちは学校に行くこともできず、靴磨きや物売り等をしながら家計を助けている。初等教育の就学率は約50パーセント、留学率が高く、退学者も多いため、卒業率が約40パーセントしかない。学習環境は非常に悪く、教育レベルも大変低い。

3. 活動内容及び成果について

算数プロジェクト「GUATEMATICA (グアテマティカ)」のもと、教員の算数指導力向上を及び JICA 作成の教師用指導書と児童用教科書の普及拡大にむけて以下の活動を行った。

①パイロット校全教員の知識向上を図るため、「教員・児童対象学力診断テスト」「授業観察」「算数研修会…①算数4領域別研修会（基礎コース）②選抜教員育成研修会（算数スペシャリストコース）③指導者育成研修会（算数指導者育成コース）」を実施した。

②算数教材の普及拡大を図るため、「公開授業・意見交換会」「選抜教員による算数講習会」「リサイクル教材作成」を行った。

この活動の成果として、教員の学力向上の確認、指導者24名育成、算数システム化の構築があげられる。



算数研修会にて



グアテマティカの教科書を持って

4. 活動において学んだこと・帰国後の抱負

どの子どもにも「平等な教育」を与える重要性を実感したと同時に、日本の教育システムのすばらしさを再認識できた。貧困により教育が受けられないという現実が他国にはあること、それに対して我々がどのような支援・協力をしていくことが彼らにとって大切なのかを知ることができた。この経験を、今後の教員生活にいかし、日本の子どもたちの学びの糧となるような還元をしていきたい。